

GEOINT2017

参加報告

2017年6月11日



葛岡 成樹



COPYRIGHT © 2017 · USGIF

目次

概要.....	1
感想.....	2
主なプレゼンテーション・議論.....	2
(1) 政府のプレゼンテーション.....	2
(2) USGIF.....	2
(2) AI 向けプラットフォーム.....	2
(3) エンタープライズシステム.....	2
(4) 新しい衛星.....	2
ちよつと一言.....	2

概要

2017年6月4日～7日、GEOINT2017が米国テキサス州サンアントニオにて開催された。今年のテーマは” Advancing Capabilities to Meet Emerging Threats”であった。GEOINTは米国地理空間インテリジェンス財団(US Geospatial Intelligence Foundation: USGIF)が2004年から毎

年主催している、安全保障・防衛向け地理空間インテリジェンス(GEOINT)に係る世界最大の会議・展示会である。参加者は米国を中心として、防衛・安全保障分野における地球観測(EO)衛星を含む地理空間インテリジェンスに係る官・民である。USGIF 担当者に確認したところ公式な参加者数は今後発表することのだが、概数で昨年と同じ3,500人程度が参加

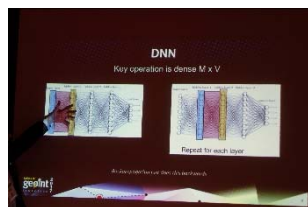
しているとのこと。また展示は 240 社であった。日本からも、防衛・安全保障分野での地球観測関連の官民約 60 名が参加した。

感想

今回の GEOINT は正直期待外れ、内容が薄かった。昨年までは、まず米国国家インテリジェンス (Director of National Intelligence: DNI) 長官自らが GEOINT に対する期待を述べた後、国家地理空間インテリジェンス局 (National Geospatial-Intelligence Agency: NGA) 長官および国家偵察局 (National Reconnaissance Office: NRO) 長官がそれぞれの今後の施策について説明するのが常であり、GEOINT の政策・技術についての最新動向とともに今後の方向性を知ることができた。しかし今年は、前 DNI 長官 Clapper 退役中將の後任として今年 2 月に就任した Mr. Dan Coats 及びその代理は出席せず、NRO 長官 Ms. Betty J. Sapp のプレゼンテーションもなかった。NGA 長官 Mr. Robert Cardillo のキーノートスピーチはあったものの、その内容は過去にすでに発表されたトピックスばかりであり、新たに参加した人には NGA の活動を概観するには良いが今後の方向性を示すものではなかった。米国新政権の中の調整にまだ時間がかかっており、将来の方向性を示すまでには至っていないということであろうか。また展示会等でも大手宇宙・防衛企業は展示はしているもののブースは小さく、新味のある展示はなかった。

小型衛星や AI・ビッグデータに関する技術は、もう当たり前として各スピーチで言及、展示されていた。また別途開催されたトレーニングセッションでも、AI やビッグデータを取り上げたものが多かった。

<以下省略>



主なプレゼンテーション・議論

(1) 政府のプレゼンテーション

<以下省略>

(2) USGIF

<以下省略>



年を取ったカーク船長

(2) AI 向けプラットフォーム

<以下省略>

(3) エンタープライズシステム

<以下省略>

(4) 新しい衛星

<以下省略>

ちょっと一言

GEOINT で筆者自身 3 回目の訪問となるサンアントニオ。アラモの砦やヒストリックマーケットなど観光地



も多い。街の中心地にはリバーウォークといわれる運河が引き回されており、観光用ボートが回っている。ある意味町全体がディズニーランド状態。ここではタコスなど Tex-Mex フードといわれるテキサス-メキシコ料理とユローズンマリガータを楽しむに限る。

本報告書へのお問い合わせは：



株式会社 サテライト・ビジネス・ネットワーク

<http://sat-biznet.com/contact-us/>

葛岡 成樹



ユーロコンサル日本事務所

<http://www.euroconsult-ec.com>

葛岡 成樹